令和7年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	山林・林内路網の整備	担当課名	産業振興課
		担当係名	農林係
（予算書コード）	06-02-02-10-01、06-02-03-10-01、06-02-04-10-01		
事業区分	単年度予算 ／ 運営方法：直営 ／ 委託 ／ 補助		
事業の開始・終了	年 月 ～ 年 月 （事業に始期又は終期がある場合に記入）		
根拠法令等の名称	鳥獣被害防止総合対策交付金交付要綱・野生鳥獣総合管理対策事業補助金交付要綱・森林保全巡視事業実施要領・下諏訪町森林造成事業補助金交付要綱		

【事業の概要及び分析】

事業の目的 （誰に対して） （何のために） （何を行うか）	町民の財産である森林の持つ木材の生産、治山・治水等多面的機能の維持増進のため、森林整備の基盤施設である林内路網の整備、町有林の間伐等の森林整備を行う。また、良好な里山環境を守るため、病害虫の発生防止を図るとともに、ニホンジカ等の駆除を行うことにより、農林業の被害防止を行う。

事業の活動成果 （事業の実施によりどのような状態にしたいか）	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	森林整備面積	実施面積/目標面積	ha	目標	22.00	22.00	30.00
				実績	18.33	15.78	29.72
				達成率	83.3%	71.7%	99.1%

【投入されたコスト・業務量】

		令和6年度決算	令和7年度決算	令和8年度予算
事業費	事業費 A	18,254 千円	28,604 千円	26,500 千円
	うち 会計年度任用職員人件費	人 千円	人 千円	人 千円
	正規職員人件費 B	1.90 人 13,181 千円	1.90 人 13,861 千円	1.65 人 12,385 千円
事業費合計 C（A＋B）		31,435 千円	42,465 千円	38,885 千円
財源内訳 特定財源	国の負担	千円	千円	千円
	県の負担	380 千円	845 千円	3,687 千円
	町の借入	千円	11,500 千円	3,300 千円
	その他	千円	千円	千円
	うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円
	一般財源（町の負担）	31,055 千円	30,120 千円	31,898 千円
受益者負担率（D／C）		0 %	0 %	0 %

【事業の評価】

区分		評価		説明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない	民有林の管理については、個人で行っていくことが難しくなっており、その保全については、都道府県及び市町村が広域的に指導監督することとされており、長野県と連携して事業実施しているため、妥当である。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である	森林の公益的機能により、多くの町民がその恩恵を受けており、山林の保全は災害防止に寄与するものであるため、適切である。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である	国、県の補助金や制度を活用しつつ事業を実施しており適切である。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか（下回っている場合は、その理由）	C	目標値以下である	林齢など山林の状況により年度ごと整備面積にばらつきがあるため目標面積を下回った。

総合評価	現状維持	昨今、異常気象が続いており、災害の予防を進めていくためにも山林の保全が必要である。また、森林整備を推進するため、林内路網の維持修繕は不可欠であり、計画的に維持管理をしていくことが必要である。
前年度の総合評価（評価が変わった場合はその理由）	現状維持	

令和7年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	信州産ペレット消費拡大事業			担当課名	産業振興課
				担当係名	農林係
（予算書コード）	06-02-02-14-01				
事業区分	単年度予算	運営方法	補　助		
事業の開始・終了	年　月 ～ 年　月　（事業に始期又は終期がある場合に記入）				
根拠法令等の名称	木質バイオマス循環利用普及促進事業実施要領・下諏訪町木質バイオマス循環利用普及促進事業補助金交付要綱				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 （誰に対して） （何のために） （何を行うか）	住居若しくは事業所を有する個人または事業者に対して、長野県産の木材等の利用促進を図るため、ペレットストーブ、ペレットボイラー本体の購入に要する金額に対し、10万円を限度に補助する。						
事業の活動成果 （事業の実施によりどのような状態にしたいか）	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	補助台数	補助台数/目標台数	台	目　標	2	2	2
				実　績	0	3	1
				達成率	0.0%	150.0%	50.0%

【投入されたコスト・業務量】

			令和6年度決算	令和7年度決算	令和8年度予算
事業費	事　業　費　A		300 千円	100 千円	200 千円
	うち 会計年度任用職員人件費		人　千円	人　千円	人　千円
	正規職員人件費　B		0.30 人　2,081 千円	0.30 人　2,189 千円	0.05 人　375 千円
事業費合計　C（A＋B）			2,381 千円	2,289 千円	575 千円
財源内訳	特定財源	国　の　負　担	千円	千円	千円
		県　の　負　担	225 千円	75 千円	150 千円
		町　の　借　入	千円	千円	千円
		そ　の　他	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料　D	千円	千円	千円
	一般財源　（町の負担）		2,156 千円	2,214 千円	425 千円
受益者負担率　（D／C）			0 %	0 %	0 %

【事業の評価】

区　分		評　価		説　明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない	県事業の実施主体として、町が位置付けられているため、妥当である。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である	受益者は、町内に居住する若しくは事業所を有する個人又は事業者であるので妥当である。また、本体を購入する費用の2分の1以内かつ10万円を補助の限度としており、適切な費用負担と考える。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である	最小の人員で効率的に行っている。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか （下回っている場合は、その理由）	C	目標値以下である	設置を検討する方が少なく目標を下回った。

総　合　評　価	現状維持	長野県産の木材等の利用促進を図るために、継続的に実施すべき事業であるので、ホームページへの掲載等、機会のあるたびにPRを行う。
前年度の総合評価 （評価が変わった場合はその理由）	現状維持	

令和7年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	農業の振興	担当課名	産業振興課
		担当係名	農林係
（予算書コード）	06-01-01-05-01、06-01-03-10-01・12-01・16-01・18-01、06-01-04-10-01		
事業区分	単年度予算 ／ 運営方法	直営 ／ 委託 ／ 補助	
事業の開始・終了	年 月 ～ 年 月 （事業に始期又は終期がある場合に記入）		
根拠法令等の名称	農地法、農業委員会等に関する法律、下諏訪町農業委員会の委員の定数を定める条例、下諏訪町農業振興特別対策事業補助金交付要綱、特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律、鳥獣被害防止総合対策交付金交付要綱、野生鳥獣総合管理対策事業補助金交付要綱、経営所得安定対策推進事業費補助金交付要綱・下諏訪町地域農業再生協議会補助金交付要綱		

【事業の概要及び分析】

事業の目的 （誰に対して） （何のために） （何を行うか）	適切な農業行政を推進するための農業委員会の運営、農業関係団体を支援するため補助事業の実施、遊休農地の解消を図るため町民菜園の貸し付け、野生鳥獣から農地を守るため鳥獣被害防止対策など各種事業を行うことにより農業の振興を図る。

事業の活動成果 （事業の実施によりどのような状態にしたいか）	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	町民菜園稼働率	実績稼働率/目標稼働率	%	目標	95.0	95.0	95.0
				実績	85.8	93.6	97.3
				達成率	90.3%	98.5%	102.4%

【投入されたコスト・業務量】

			令和6年度決算	令和7年度決算	令和8年度予算
事業費	事業費 A		12,076 千円	17,213 千円	13,928 千円
	うち 会計年度任用職員人件費		1.00 人 千円	1.00 人 千円	1.00 人 千円
	正規職員人件費 B		3.70 人 25,669 千円	3.70 人 26,992 千円	3.30 人 24,770 千円
事業費合計 C（A＋B）			37,745 千円	44,205 千円	38,698 千円
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円
		県の負担	2,568 千円	3,265 千円	2,714 千円
		町の借入	千円	2,600 千円	900 千円
		その他	344 千円	913 千円	361 千円
		うち 使用料・手数料 D	344 千円	326 千円	361 千円
	一般財源（町の負担）		34,833 千円	37,427 千円	34,723 千円
受益者負担率（D／C）			0.911 %	0.737 %	0.933 %

【事業の評価】

区分		評価		説明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない	農地法、特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律に基づいた事業であり妥当である。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である	受益者は農業団体及び農業者全員を対象としており、補助金交付要綱、貸付規程等により適切な費用負担を求めている。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である	必要最小限の予算、人員で効率的に運用している。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか （下回っている場合は、その理由）	C	目標値以下である	空き菜園については、広報やホームページなどで利用者を募っているが、山間部では交通の便の悪さと獣害被害により、需要が少なく空き区画が出てしまう。

総合評価	現状維持	当町の農地は高齢化や担い手不足により、遊休農地が増加傾向にある。農業振興を図ることで遊休農地解消につながるため、引き続き同様の取り組みをする必要がある。
前年度の総合評価 （評価が変わった場合はその理由）	現状維持	

令和7年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	漁協への支援			担当課名	産業振興課
				担当係名	農林係
（予算書コード）	06-03-01-10-01				
事業区分	単年度予算	運営方法	補　助		
事業の開始・終了	年　月 ～　年　月	（事業に始期又は終期がある場合に記入）			
根拠法令等の名称	諏訪湖漁業協同組合補助金交付要綱				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 （誰に対して） （何のために） （何を行うか）	水産振興のために、魚類の増殖および外来魚の駆除に対し、実施団体へ補助金を交付する。						
事業の活動成果 （事業の実施によりどのような状態にしたいか）	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	ワカサギのふ化放流量	同左	億粒	目　標	2.5	2.5	8
				実　績	0.8	0.5	0.8
				達成率	32.0%	20.0%	10.0%

【投入されたコスト・業務量】

			令和6年度決算	令和7年度決算	令和8年度予算
事業費	事　業　費　A		1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
	うち 会計年度任用職員人件費		人　千円	人　千円	人　千円
	正規職員人件費　B		0.10 人　694 千円	0.10 人　730 千円	0.10 人　751 千円
事業費合計　C（A＋B）			1,694 千円	1,730 千円	1,751 千円
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料　D	千円	千円	千円
	一般財源（町の負担）		1,694 千円	1,730 千円	1,751 千円
受益者負担率（D／C）			0 %	0 %	0 %

【事業の評価】

区　分		評　価		説　明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない	諏訪湖の漁労、伝統文化の普及啓発、観光資源としての活用を推進することを目的に諏訪湖漁業協同組合による水産資源の管理保護事業を諏訪湖周の市町として支援する必要がある。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である	外来魚の生態系への影響及びワカサギ等の漁獲量の減少は、湖周住民にとって深刻問題であり、周辺市も同様の補助をしている。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である	最少の人員で事業を行っている。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか （下回っている場合は、その理由）	C	目標値以下である	気候変動や湖内生息環境の悪化により漁獲、採卵不振となり目標値を下回った。

総合評価	現状維持	漁協では、採卵事業などの増殖事業のほかに、外来魚駆除対策事業を積極的に実施しており、諏訪の食文化の継承にも取り組んでいる。漁業資源の維持管理及び回復のため、継続的な支援が必要である。
前年度の総合評価 （評価が変わった場合はその理由）	現状維持	